

桐朋女子中学・高校で「調布市景観学習」を行いました。

- 平成 29 年 2 月、桐朋女子中学校・高等学校で景観学習の一環として、早稲田大学大学院の授業で制作した調布の景観に関する映像作品の上映会を、大学院から担当講師と大学院生をお迎えし行いました。
- 桐朋女子中学・高等学校の放送部が制作した作品も上映し、映像作品を通じて調布のまちや景観の魅力について学び、交流を図りました。
- 将来の街づくりの担い手である子どもたちが、自分たちが暮らす地域の魅力を考えることの大切さや、面白さを感じてもらおうきっかけとして、今後もこのような取組を実施していきたいと思ひます。



調布市景観審議会市民委員を募集しています！

- 多摩川や国分寺崖線などの自然、深大寺周辺の街並み、農の風景など、**調布の魅力を活かした景観づくり**について、**一緒に考えてくださる方**のご応募をお待ちしています。

景観審議会は、市内の良好な景観形成を推進するため、必要な事項を調査・審議するために設置された市長の附属機関。
市民、学識経験者、市民団体及び関係団体から推薦された者の 10 人の委員で構成されています。



応募手続

【募集人数】：2 人

【任 期】：2 年

【応募対象】：市内に 3 か月以上居住し、年 3 回程度、開催する会議（平日日中開催）に出席できる 20 歳以上の方（外国人含む）。

【応募方法】：下記の 2 点を作成の上、都市計画課窓口（市役所 7 階）に直接提出して下さい。提出物などは返却いたしません。

- ①申込書：都市計画課窓口（市役所 7 階）で配布の他、市ホームページからも印刷可能です。
- ②小論文：テーマ「調布市の魅力的な景観づくりについて」とし、文字数は 800～1200 字程度とします。

【応募期間】：平成 29 年 3 月 21 日（火）～4 月 10 日（月）までの期間
※午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分（土日、祝日は除く）まで

【その他】：その他詳細は市のホームページに公開しています。
（トップページ⇒まちづくり・環境⇒都市計画・街づくり⇒景観まちづくり）



- 調布市では、景観まちづくりの取組について、「ちょうふ景観だより」でお知らせしています。

発行：調布市都市整備部 都市計画課 景観係

Tel : 042-481-7746 Fax : 042-481-6800 Email : tikubetu@w2.city.chofu.tokyo.jp

ちょうふ 景観 だより

第 34 号 / 平成 29 年 3 月 27 日発行



第 8 回調布市景観まちづくり市民検討会を開催しました！

- 調布市では、「調布市景観まちづくり市民検討会」を設置し、市民委員による地域特性を活かした魅力的な景観まちづくりについて意見交換しています。
- 本号では、平成 29 年 3 月 3 日（金）に開催した「第 8 回調布市景観まちづくり市民検討会」についてご紹介します。



第8回調布市景観まちづくり市民検討会を開催しました

第8回開催テーマ 『「身近な景観づくり」をとりまとめよう!』

平成29年3月3日(金)に開催した第8回市民検討会についてご紹介します。今回は、第4回から第7回までの検討会での意見交換をもとに、「調布の身近なステキ景観」についてとりまとめを行いました。

私たちが見つけた身近なステキ景観を冊子としてとりまとめよう!

「住まい編」「みず・みち・みどり編」「店舗・施設編」の3つの分類で、タイトルと解説を付した写真と、その場所を示す位置図などで構成された冊子「調(しらべ)～私たちが見つけた身近なステキ景観～」を作成しました。その一部を紹介します。

住まい編

コンクリートの壁にぬくもりを



・冷たいイメージのコンクリートの壁に紫陽花の鮮やかな紫色が映え、梅雨の時期は特に楽しみになる場所です。

みず・みち・みどり編

食べる緑



・周りの景色が少しずつ変化していく中で、ずっと変わらずに人の食を支えてきたこのキャベツ畑は、わたしたちが誇る、都市近郊のすばらしい風景です。

店舗・施設編

お正月限定



・正月三が日に、その年の干支を材木に描いてくれます。お正月限定の景観であり、商売人の心意気を感じられ、いつもありがたく拝見しています。

冊子のタイトルや表紙デザインも、市民委員の皆さんのアイデアで作成しました。



タイトルの「調(しらべ)」には、「整える」、「釣合いがとれる」、「奏でる」などの意味もあり、調布のまちに調和した魅力的な景観を紹介するという意味がこめられているんだ!



みんなの取組を発表しよう!

市民検討会での意見交換を通して、調布の景観づくりについて、「今後取り組みたいこと」や「実感したこと」などを発表しました。その一部を紹介します。

「私は、これからもステキ景観を探し、発信していくことを宣言します。」



「緑ある景観は人を和ませる。便利・快適さと緑の潤いと「好バランス」を調布で叶えたい。」



「調布の景観は、住み良い街にしたいという一人一人の心掛けの結晶であると感じました。」



市民検討会の参加がきっかけとなって、みんな「景観」に対する意識が変化したね。



調布市景観アドバイザーからの講評

これまでの検討会を振り返り、景観アドバイザーの石川先生から講評をいただきました。



石川 初 先生
(慶應義塾大学大学院 教授)

○綺麗なものをつくる一方で、いつの間にか景観として共有されているものを、どのように受け継いでいくかということ、我々は考えなければいけないと改めて感じました。

○景観とは誰かがつくったものを受取り、批判するのではなく、自分たちが関わり、自分たちこそが景観の担い手であるということを、検討会を通して感じられたことが素晴らしいと思いました。

